

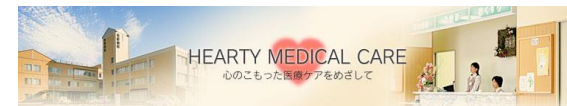
矢掛町国民健康保険病院

☆ 地域住民にとって信頼できる病院をめざす ☆

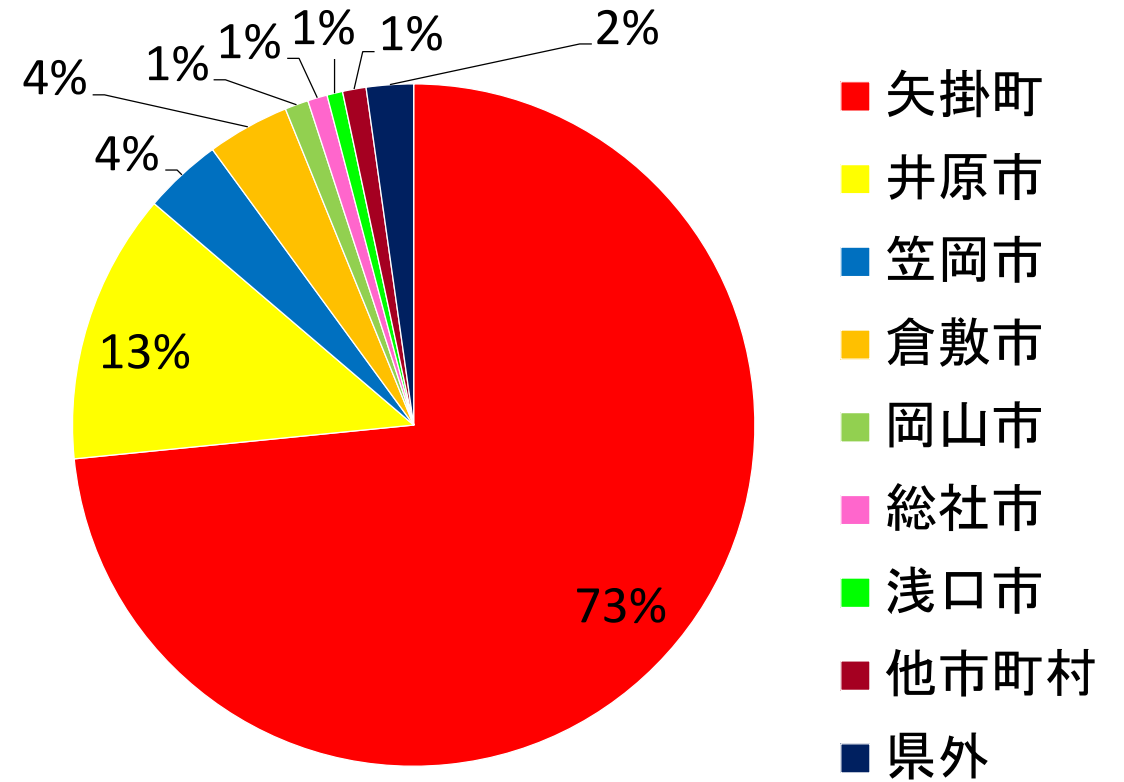
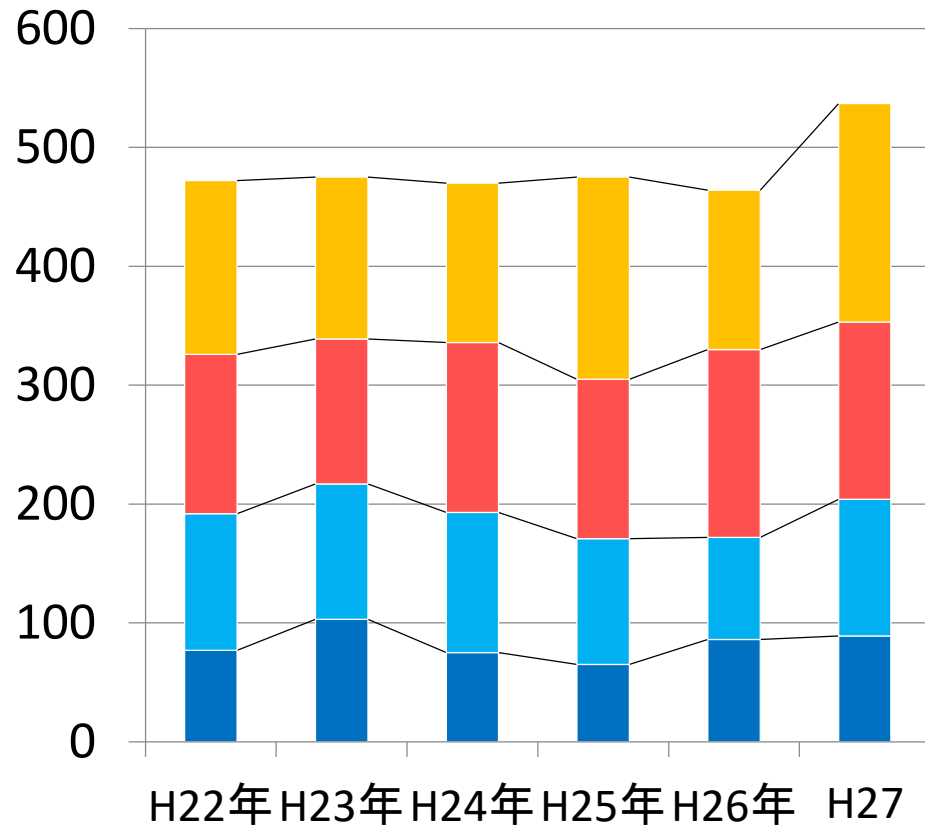


基本方針

- 安全で安心できる医療の提供に努める
- 患者様・ご家族の立場に立ったサービスの提供に努める
- 改善努力を怠らず、常に組織・職員とも研鑽に努める
- 地域の関連施設及び院内の連携を密にし、充実した地域包括ケアの実践に努める



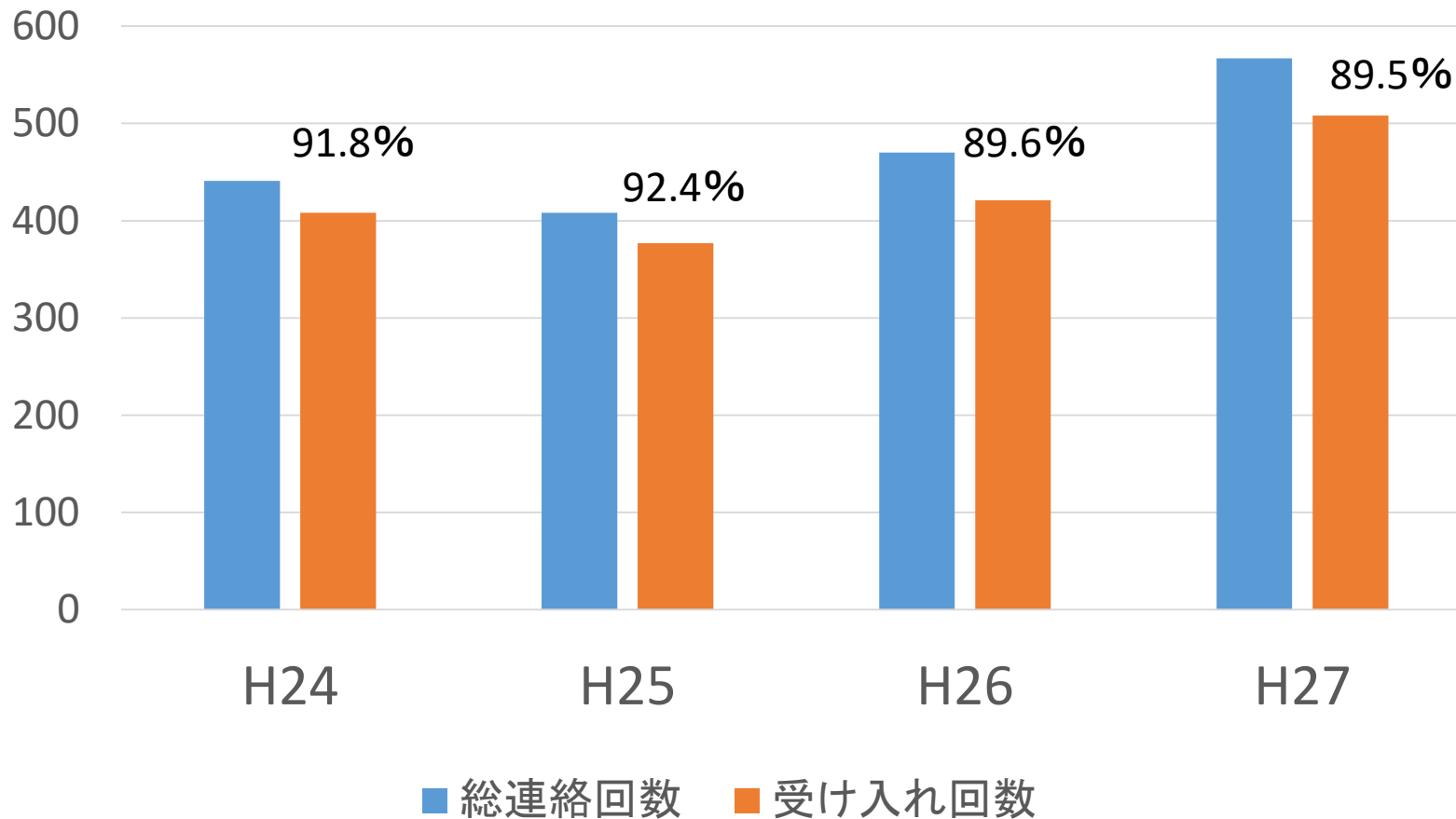
矢掛病院の現状－救急体制について(平成27年)



救急体制の維持

救急車の応需率（平成27年）

井原地区消防組合分



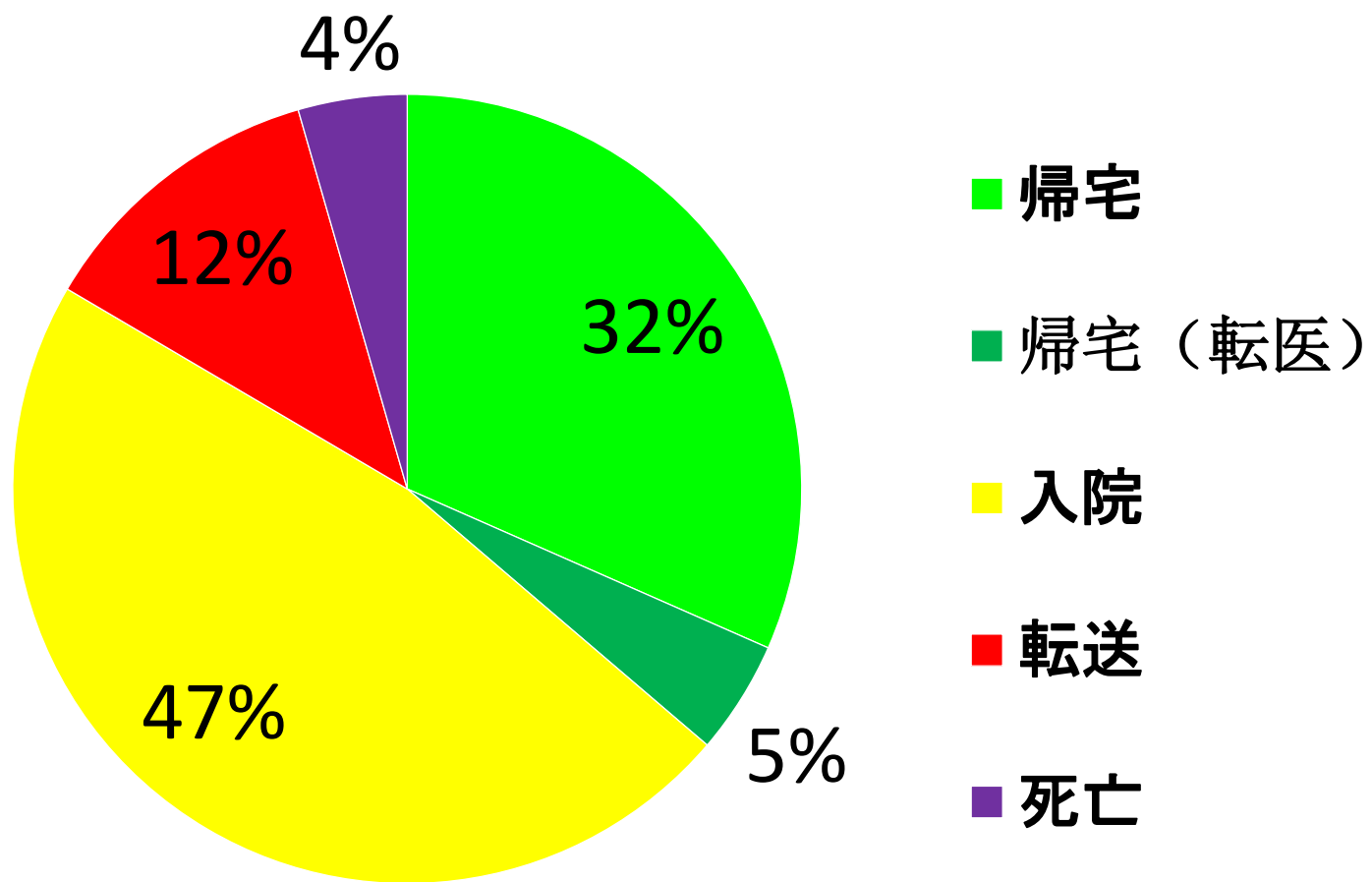
参考

井原地区管内応需率 64%
(全救急車 2681件)

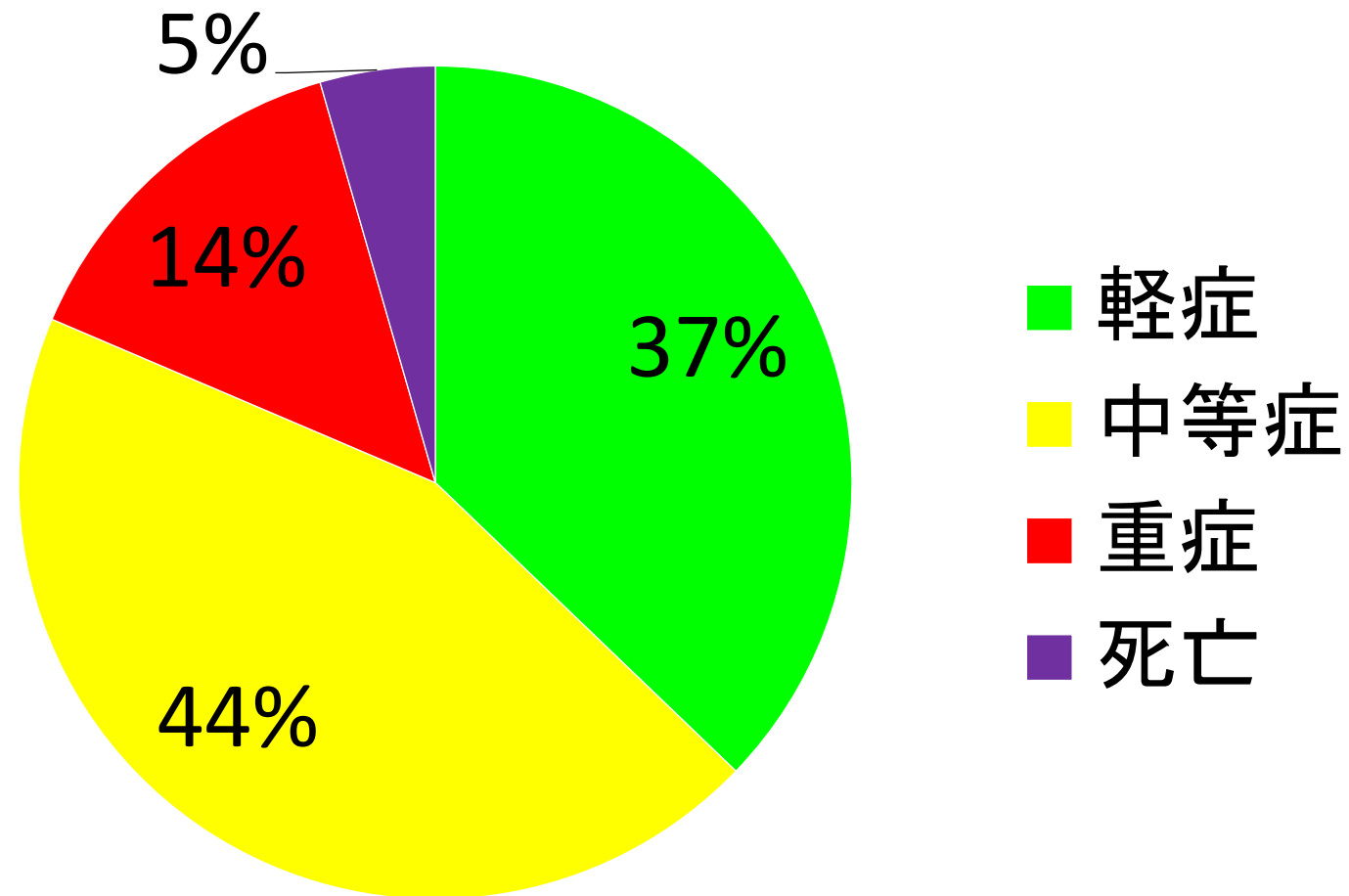
笠岡地区管内応需率 58%
(全救急車 3629件)

矢掛町内応需率 92%
(全救急車照会数 437件)

転帰別分類(平成27年)



重症度別分類(平成27年)



矢掛病院の近年の新しい取り組み(チーム医療の推進)

- 月1回の朝礼
- 総回診(多職種連携協同の試み)
- “がんリハ チーム(がん患者さんのリハビリテーション)”の立ち上げ
- 口腔ケア(お口の健康は体の健康)
- 歯科との連携(患者さんの食べるを改善します)
- NST施設認定(栄養面からの患者さんのサポート)
- Y-CASTの試み
- 看護部の取り組み
 - ワークライフバランスへの取り組み、ユマニチュードの推進など
- 委員会活動
 - (緩和ケアチーム、認知症ケアチームの立ち上げ)
- 地域での外科医のありかた(総合診療外科医) 腹腔鏡手術のこと
- 病院誌刊行 矢掛病院80周年
- 矢掛病院の目指す方向

月1回の朝礼

月はじめの月曜日の朝、看護部長の司会で、簡単な報告とともに、事業管理者と院長から短いスピーチがあり、矢掛病院の課題や今後の矢掛病院のめざす方向について話をし、みんなの気持ちをひとつにしています。

総回診

多職種が集まりによる患者さんへの取り組み
診療だけでなく、療養環境にも注意を払って回診

感染対策推進委員会 (ICT)、栄養サポートチーム (NST)、
褥瘡・難治創予防委員会、安全管理、リハビリ、栄養科、
検査科、事務、薬局

回診後に症例検討会や多職種による勉強会を行っています



回診風景



検討会・勉強会

リハビリテーション分野

○リハビリは医療を行う上での重要な要素

（医療の中での標準化）

○矢掛でできることは矢掛で一倉敷や岡山に行かなくても済むように

○急性期から回復期のリハビリの充実

○医療としてのリハビリの充実

○チームとしてのリハビリ

○訪問（在宅）リハビリテーション（維持期）

○がんのリハビリテーション（がんリハ）

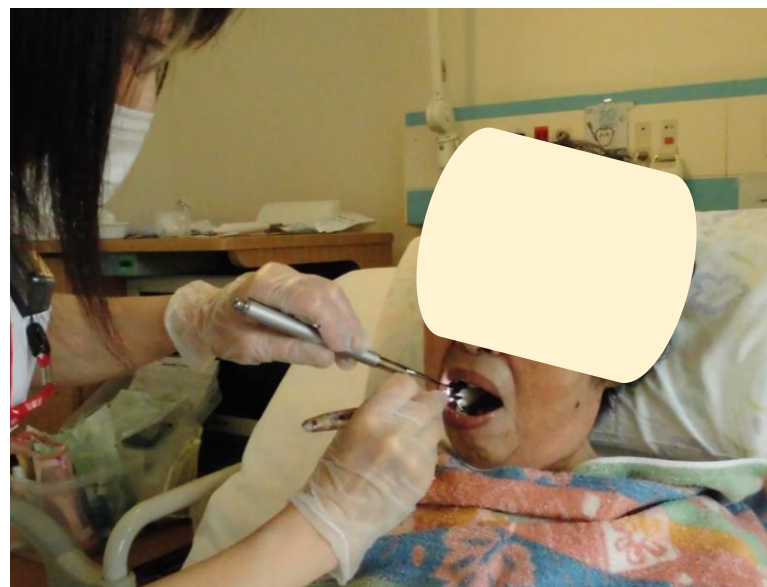


嚥下・口腔ケアへの取り組み

お口の健康と飲み込む力の改善は肺炎などの身体の病気を防ぎ、生きる活力を増進します

入院中の患者さんの歯の衛生、治療について小田郡歯科医師会の先生のご協力を得ることができるようになりました。

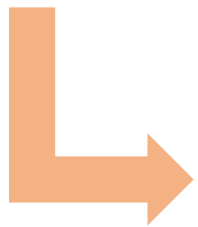
口腔ケア



前



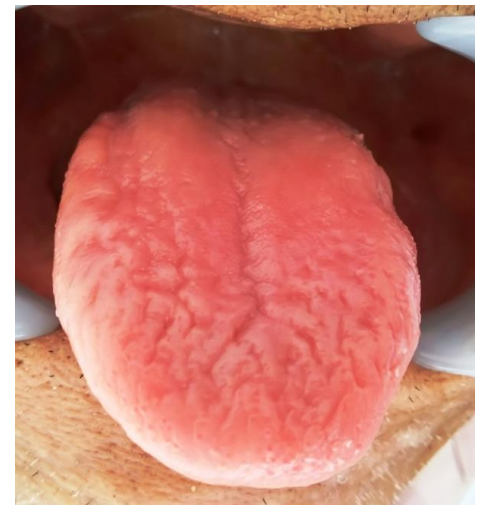
前



後



後



栄養サポートチーム

Nutrition Support Team(NST)

栄養サポート(栄養管理を症例
個々や各疾患治療に応じて適切に
実施すること)

栄養サポートチーム

医師、看護師、薬剤師、管理栄養
士、臨床検査技師などの多職種で
栄養サポートを実践するチーム



矢掛包括的ケア・サポートチーム

Yakage Comprehensive care

And Support Team(Y-CAST)

多職種による複数の委員会チームが
共同して、患者様への総合ケアを行う

主要3委員会の活動

栄養サポートチーム

感染対策推進委員会

褥瘡対策委員会

院内の合同回診・検討会
症例における総合的介入
町内の関連施設との連携
在宅医療への介入

看護部の試み（働きやすい職場を目指して）

ワークライフバランスへの取り組み（社労士さんといっしょに）

新人受け入れ 10カ条

病棟内チーム制（3チーム）の試みと確立

口頭の申し送りの廃止

ユマニチュードの推進

ユマニチュードとはフランスで35年の歴史を持つ、ケアする人とは何かという哲学に基づいた実践的なケアの方法
「3本の柱」

まなざし: 見る

声かけ: 応答(常に話しかける)

触れる: 優しさを伝えられる触れ方

立つ: 一日20分立つ(寝たきり防止)



認知症の患者様が増えている現在、この3本の柱をケアの中に取り入れ、患者様の尊厳を大切にする。常に人格を尊重して温かな人間的配慮をもって対応することに努めています

委員会活動の活性化

認知症ケアチーム・・・H28年4月から委員会を発足

目的；認知症の方が、入院時正しく診断され、安心して治療とケアが受けられるように多職種からなるチームで活動

活動内容；

○病態、薬剤、ケアなどの勉強会（毎月）

○院外の研修への参加

○認知症サポートを実際に稼働している
病院への見学など



重井病院の認知
症サポートチーム
の活動の見学

委員会活動の活性化

緩和ケアチーム・・・H28年4月から委員会を発足

目的;がんの患者さんが急増するなかで外来患者、入院患者を対象に緩和治療が必要な患者のケアサポート

活動内容;悪性腫瘍のため、たとえ治らなくても、苦しみを和らげるような取り組みを行ったり、残された時間が有意義に過ごせるように関わっていくにはどうすればいいかを検討し、緩和ケアに経験のある医師、看護師、他職種からなるチームで活動。毎月勉強会など

外科手術について

外科手術、とくに腹腔鏡手術に力を入れています。
希望があれば当院でもできるようになりました。

できるだけ緊急手術にも対応するようにしています

3年間で約250例の外科手術を行いました。
鏡視下手術も150例になりました。

・総合診療医としての総合診療外科医

- ☞ 一般外科医としての診療
- ☞ 外科診療に必要な内科系診療
- ☞ 外科系診療
 - 整形外科・眼科・耳鼻科・形成外科・婦人科など
- ☞ 救急医療
- ☞ 在宅医療

・専門医としての外科

- ☞ 日本外科学会専門医・指導医
- ☞ 消化器外科学会専門医・指導医
- ☞ さらに専門性
 - 大腸肛門病学会専門医
 - 日本内視鏡外科学会技術認定医

○一般的な外科手術・緊急手術の必要時にも対応できる
体制づくり

○術後のコーディネート

在宅、施設移行、リハビリテーション強化など
地域にある病院ならではの細やかなチーム医療に
よる介入

整形外科医との連携合同診療



手術： 研修医への教育



カンファレンス

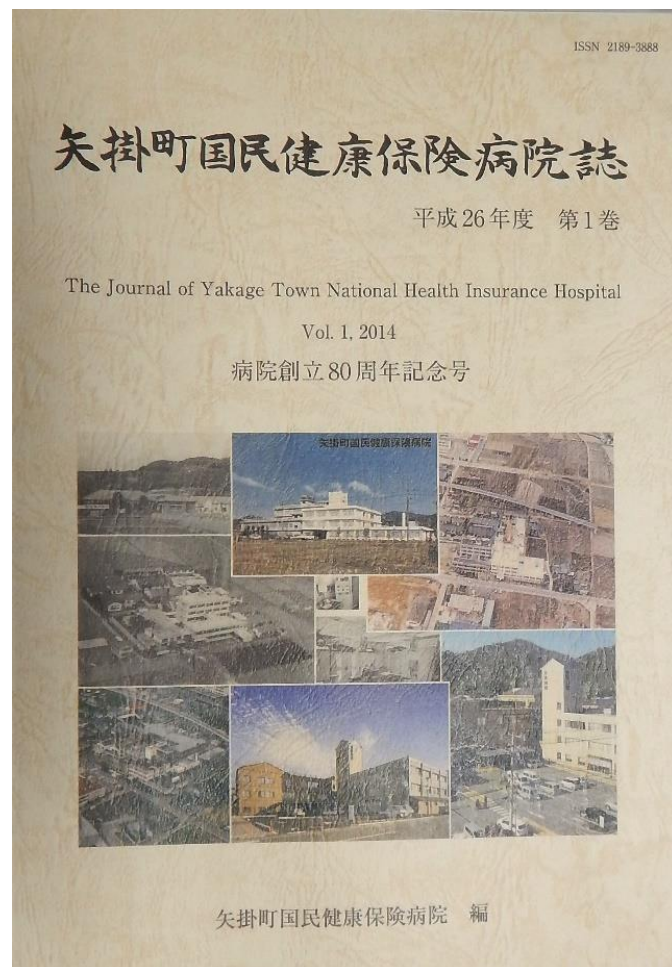


手術室運営会議



矢掛町国民健康保険病院誌 平成26年度第1巻 刊行

矢掛病院80周年



矢掛地区地域医療懇話会

- 第1回 H24年10月 これからの地域医療 講師 二宮忠夫先生
- 第2回 H25年2月
これからの地域医療ー訪問診療と在宅医療 講師 中村幸伸先生
- 第3回 H25年6月 地域医療情報ネットワーク
晴れやかネットの利用について 講師 三宅謙太郎先生
- 第4回 H25年9月 出張シュミレーショントレーニング 講師 万代康弘先生
- 第5回 H25年10月 連携シートむすびの和(井笠版) 講師 池之上 章先生
- 第6回 H26年3月
平成26年度診療報酬改定と医療制度の動向 講師 ニチイ学館
- 第7回 H26年6月 訪問看護における在宅支援について 志田原 明珠氏
- 第8回 H26年11月
在宅医療を支える～訪問リハビリに期待するもの～
落久保外科循環器科クリニック 講師 落久保院長



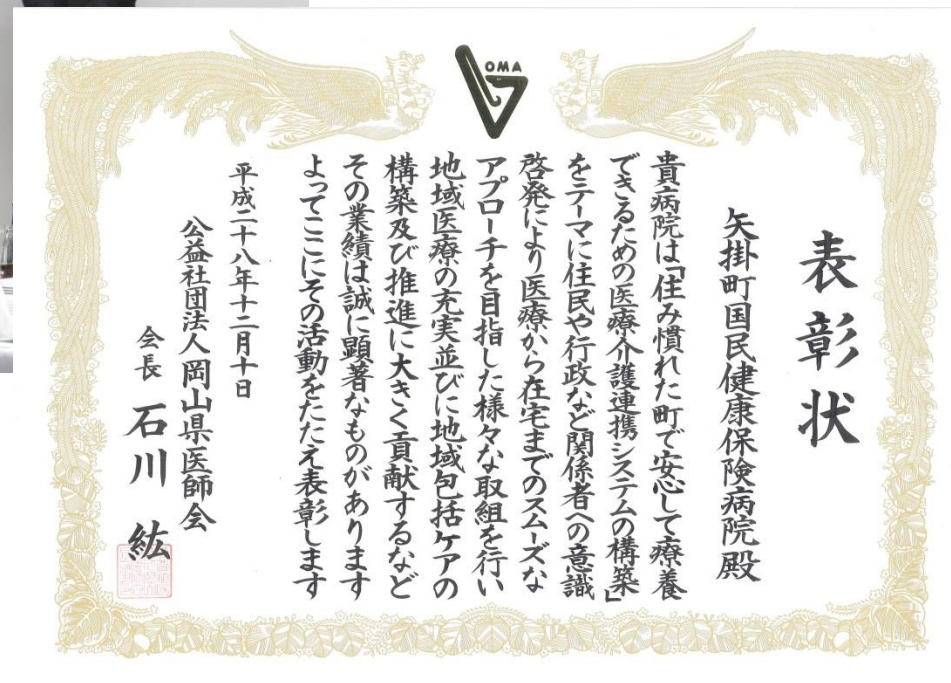
第2回矢掛地域医療介護 連携フォーラム

(矢掛町文化センター 平成26年9月)



福井県おおい町名田庄国民健康保険診療所所長 中村伸一先生をお迎えし、『自宅で大往生～「ええ人生やった」と言われるために～』と題し講演いただく

講演の後、「在宅医療を望むのか、望まないのか」と題しパネルディスカッション；パネリストの方々には講師の中村先生、町内で在宅医療に積極的に取り組まれておられる小塚医院の小塚院長、地域医療を別の立場から支えておられるニチイケアセンター矢掛の 小林さんと在宅ケアサービスステーションやかげの東本さんをお迎えし、地域での在宅医療を支える体制づくりの重要性や自分がどこで最期を迎えたいのか考えました。



12/10岡山県医師会長賞受賞

地域医療研修 研修医・医学生の受け入れ



ある研修医の 1か月の研修 スケジュール

		AM	PM	行事	病院泊
10月1日	月	外来（村上）	整形外科外来 藤原先生		
10月2日	火	回診（吉田）	手術 ソケイヘルニア(腰麻)	歓迎会（藤好）	
10月3日	水	外来（原）	療養病棟回診、虫垂炎手術(腰麻)	地域医療懇話会 19:00-	
10月4日	木	外来（外科）	乳癌検診13:00-、術前術後症例検討会	認知症研修会18:30- リハビリ3F	
10月5日	金	外来（外科）	外科症例カンファレンスPM4:30-		宿直
10月6日	土				
10月7日	日				
10月8日	月				
10月9日	火	回診 名部先生内科 外来（池田）	たかつま荘見学	安全対策委員会	
10月10日	水	内科外来（名部）	地域包括支援センター見学	片岡先生視察、歓迎会	
10月11日	木	内科外来	乳癌検診13:00-	抑制廃止委員会	宿直
10月12日	金	内科外来	外科症例カンファレンスPM4:30-	院内感染対策推進委員会	
10月13日	土				
10月14日	日				
10月15日	月	外科外来	整形外科外来 藤原先生		
10月16日	火	回診（吉田）	直腸癌手術(全麻)	大森	
10月17日	水	外科外来	〇往診1件		宿直
10月18日	木	回診（村上）	結腸癌手術(全麻)	訪問リハビリ	
10月19日	金	外科外来	外科症例カンファレンスPM4:30-	香川労災訪問(次の任地)	
10月20日	土				
10月21日	日				
10月22日	月	内科外来	整形外科外来 藤原先生	手術 橈骨骨折手術(BB)、抜釘(BB)、 救急車同乗	
10月23日	火	内科外来	食道胃接合部手術(全麻)		
10月24日	水	内科外来	〇往診(6件)		
10月25日	木	内科外来	S状結腸がん手術(全麻)	認定介護審査会・内藤先生意見交換会	当直
10月26日	金	内科外来	外科症例カンファレンスPM4:30-	大森(2件)	
10月27日	土				
10月28日	日				
10月29日	月	矢掛荘訪問、	整形外科外来 藤原先生	送別会	
10月30日	火	多機能ホームぼちぼち訪問	胃癌手術(全麻)		
10月31日	水			研修総括	
			処置、検査があればできるだけ参加	MSW大森さんの活動見学・参加のこと(3件)	

地域医療研修 研修医・医学生を受け入れ

矢掛病院は研修医・学生の地域医療研修
を積極的に受け入れています

平成24年度	研修医	1名、学生	2名
平成25年度	研修医	2名、学生	8名
平成26年度	研修医	4名、学生	10名
平成27年度	研修医	2名、学生	4名
平成28年度	研修医	2名、学生	4名
平成29年度	研修医	4名 + α	(現在)

受け入れ研修元病院
岡山大学病院、
国立病院岡山医療センター
川崎医科大学病院
岡山済生会病院
上尾総合中央病院(埼玉)



矢掛病院の今後目指す方向

＜地域連携室を強化しながら＞

地域へ出ていく活動

○地域の人々への講演活動・健康相談

○訪問診療・在宅診療

外来機能

○外来診療のアクセスのしやすさ

待ち時間の短縮

入院機能

○地域包括ケア病床の導入 等

矢掛病院がめざす病院像

○健康や体の不調なときに相談できる身近な病院

○一次、二次、三次の病院の連携の中で、矢掛町と近隣の人々の医療を守る地域の中小病院としての役割を果たす

○絶えず進歩、発展する医療・看護・介護の世界で、地域を支え、役に立つ病院、患者さんのためのかけがえのない病院であり続けること



11/13大名行列(村岡先生)



送別会

矢掛病院の 行事



テニス部・総合運動公園



新人歓迎会 水車の里



ビアガーデン



クリーン作戦



矢掛町の美しい風景

